

株主の皆様へ

第 1 6 4 期 株 主 通 信

平成 2 2 年 4 月 1 日

▼
平成 2 3 年 3 月 3 1 日



ニッピコラーゲン・
ケーシング

nippi. incorporated

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
この度の東日本大震災により被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。

さて、ここに当社グループの第164期連結事業に関してご報告申し上げます。
当連結会計年度におけるわが国経済は、本格的な景気回復には至らず、厳しい経営環境が続いております。

このような状況のなかで、当社グループは主力商品であるコラーゲン・ケーシング、ゼラチン、ペプチド、化粧品をはじめ、コラーゲン関連商品、皮革関連商品の拡販施策の展開を図り、利益体質の強化に努めてまいりました。この結果、売上高・経常利益・当期純利益は増収・増益となりました。

今後、3月に発生した東日本大震災の影響で、企業活動は多くの制約を受けると予測されますが、当社は円滑な生産活動を確保するため、様々な経営環境の変化に適切に対処すると共に、今後とも顧客ニーズに対応した高付加価値商品を投入し、高収益体質の強化に努めてまいります。

また、当社が事業参画しております千住大橋駅周辺開発拠点地区の名称を「ポンテグランデ TOKYO」に定め、当社保有土地の資産価値の拡大および有効活用による収益向上を目指して、開発事業を推し進めてまいります。

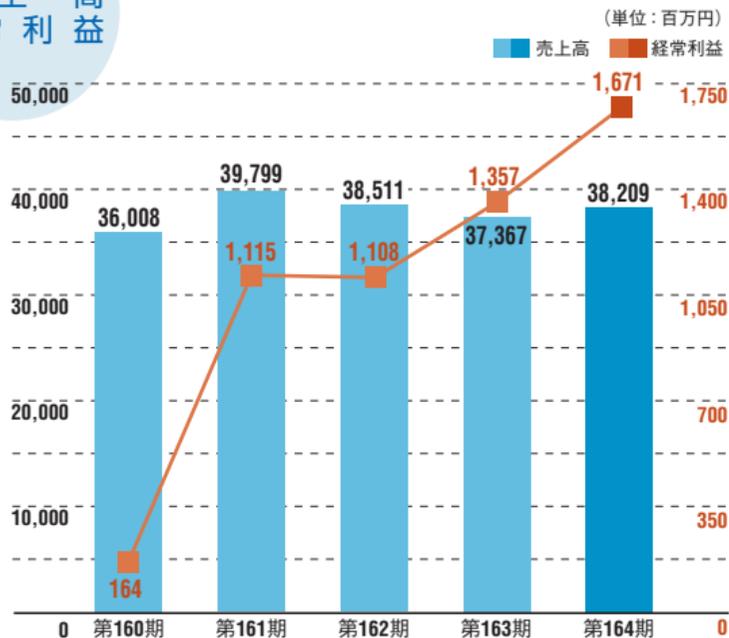
今後とも全社員一丸となって社業の発展に励むと共に、株主の皆様のご期待にお応えできるよう邁進してまいりたいと存じます。株主の皆様におかれましては、何とぞ一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成23年6月

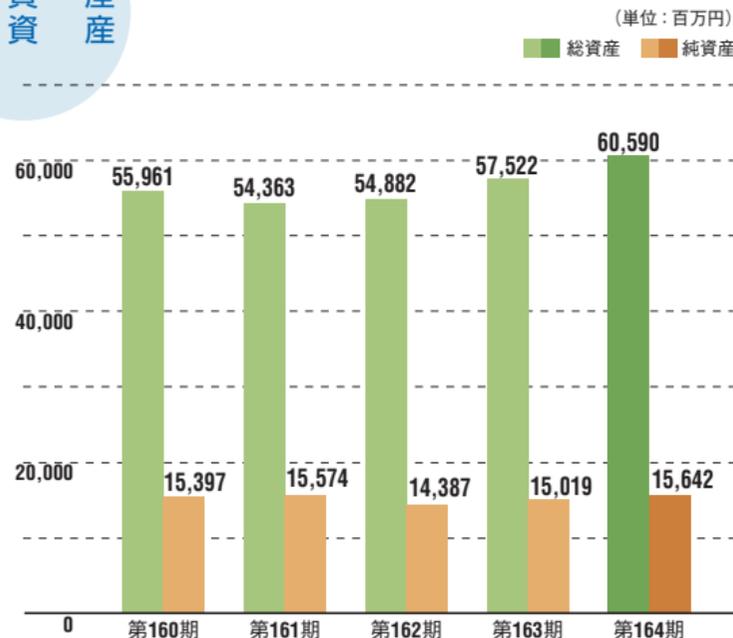


代表取締役社長
伊藤隆男

売上高
経常利益



総資産
純資産



【トピックス】

- ① 車輛用革の回復、前期に引き続きカラーゲン・ケーシング事業および化粧品関連事業における健食分野が伸長しました。
- ② 生産コスト・販売価格の見直し、新規取引先の開拓等が功を奏し、利益率の改善が図れました。

連結財務諸表

連結貸借対照表 (要旨)

(単位：百万円)

科 目	第164期 (平成23年3月31日現在)	第163期 (平成22年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	18,404	19,842
固定資産	42,152	37,670
有形固定資産	37,279	33,249
無形固定資産	61	57
投資その他の資産	4,810	4,363
繰延資産	33	10
資産合計	60,590	57,522
負債の部		
流動負債	21,353	20,873
固定負債	23,594	21,629
負債合計	44,947	42,503
純資産の部		
株主資本	7,765	7,153
その他の包括利益累計額	7,489	7,490
少数株主持分	387	376
純資産合計	15,642	15,019
負債及び純資産合計	60,590	57,522

連結損益計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科 目	第164期 (平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで)	第163期 (平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで)
売上高	38,209	37,367
売上原価	29,255	28,708
販売費及び一般管理費	6,737	6,471
営業利益	2,216	2,187
営業外収益	124	100
営業外費用	669	930
経常利益	1,671	1,357
特別利益	50	4
特別損失	433	182
税金等調整前当期純利益	1,288	1,180
少数株主損益調整前当期純利益	706	—
当期純利益	702	612

連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科 目	第164期 (平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで)	第163期 (平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,828	2,088
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,307	△2,719
財務活動によるキャッシュ・フロー	△583	2,420
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4	7
現金及び現金同等物の増・減(△)額	△2,066	1,796
現金及び現金同等物の期首残高	5,907	4,110
現金及び現金同等物の期末残高	3,841	5,907

コラーゲン・ケーシング事業

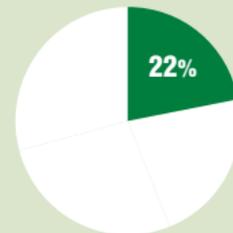
コラーゲンを原料としたソーセージの皮“コラーゲン・ケーシング”を製造販売しています。このコラーゲン・ケーシングは、従来の天然羊腸と異なり、長さや太さを自在に設定でき衛生的で、かつ大量生産に適している点で好評を得ています。また、新商品の研究開発も進み、キャラクターや文字の印刷が可能となり、昆布巻きやロールキャベツの紐（ニップストリング）などの利用対象も広がっています。国内では依然として天然羊腸が大きなシェアを占めていますが、その切り崩しに取り組み、シェア拡大に努めてまいります。

また、原材料の安定供給を目的に中国に設立した日皮胶原蛋白（唐山）有限公司の工場の本格稼動に取り組み、一層の生産性向上に努めてまいります。

（単位：百万円）

	売上高	経常利益
第163期	8,146	597
第164期	8,357	918

売上高



コラーゲン・ケーシング
使用製品

ゼラチン関連事業

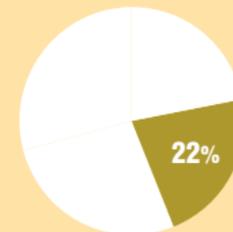
ゼラチンおよびコラーゲンペプチドは、タンパク質の一種であるコラーゲンから抽出、またはさらに低分子化して作られ、それぞれ「ゼラチン」および「コラーゲン」として流通しております。その用途は、食用・医薬品用・写真用・工業用など様々で、特に健康食品用のカプセル、コンビニエンスストアの惣菜などに利用される食用分野の広がりも顕著です。例えば惣菜分野では、煮崩れを防ぎ・見映えを保ち・味も損なわずに陳列でき、食べる寸前の加熱でゼラチンが溶け、調理出来立ての熱々な姿と風味を演出することができます。当社では今後もこの分野の販路拡大を推し進めてまいります。

また、昨年から取り組んでいる原材料の自社生産から仕入れへの移行に伴い、原材料の安定的な調達とコスト管理に努め、競争力のある生産体制の構築を推し進めてまいります。

(単位：百万円)

	売上高	経常利益
第163期	8,641	598
第164期	8,279	791

売上高



カプセル

化粧品関連事業

ニッピのコラーゲンに関する技術・ノウハウから生まれた「ニッピコラーゲン100」「ニッピコラーゲンスキンケアクリーム」は、(株)ニッピコラーゲン化粧品の基幹商品として長年にわたり高い評価を得ております。同社はこれらを柱にコラーゲンに関連する様々な化粧品・健康食品の販売を展開しています。

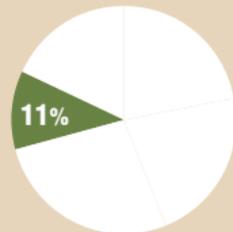
また、食品分野を中心とした国際品質選考会として高い評価と歴史を持つモンドコレクション（2011年）において、「ニッピコラーゲン100」は最高金賞を、「ニッピコラーゲンスキンケアクリーム」は銀賞を、「ニッピコラーゲンドリンク10000」は金賞をそれぞれ受賞しました。また、「ニッピコラーゲン100」は2009年から3年連続金賞以上を受賞したことにより、国際優秀品質賞をいただきました。このようにニッピのコラーゲン技術は国際的に高く評価されています。

- ① ニッピスキンケアクリーム
- ② ニッピコラーゲン100
- ③ ニッピコラーゲンドリンク10000

(単位：百万円)

	売上高	経常利益
第163期	4,199	919
第164期	4,393	746

売上高



皮革関連事業

創業以来、当社の基幹事業として、また、日本の皮革産業の中心として活動してきた皮革関連事業は、経営効率の観点から事業を縮小いたしました。当社の車輛用革の技術は高い評価を受けており(株)ニッピ・フジタが引き継いで活動しております。

平成21年9月に中国の浙江省海寧市に車輛ハンドル用革の生産工場を設立し、これらの生産体制が本格稼働いたしました。さらなる量産化と品質向上に努めてまいります。

バイオマトリックス研究所

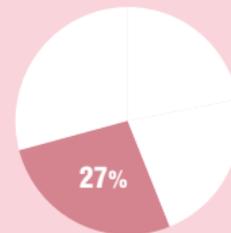
1921年に独立した組織としてニッピ研究所を設立以来、本格的に皮革関連の分析・研究、ゼラチン、コラーゲンの研究を行っています。

それらの結果、様々な製品開発がなされ、近々では「ニッピブル BSE 検査キット」の付属の試料粉碎器具として開発され、その後改良型として発売された「バイオマッシャーII」が好評を得ています。

(単位：百万円)

	売上高	経常利益
第163期	9,008	162
第164期	10,026	118

売上高



③革のカラーバリエーション
⑥牛革製靴 ⑦牛革製小物

賃貸・不動産事業

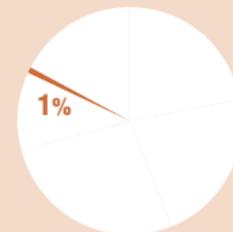
大阪皮革工場・東京本社皮革工場の跡地再開発に伴い、一時的な遊休土地を駐車場・フットサル場等として賃貸する事業を行っております。また、当社周辺再開発地区「ポンテグランデTOKYO」の資産価値の拡大を図るためPR活動に努めてまいります。



(単位：百万円)

	売上高	経常利益
第163期	472	1,040
第164期	485	1,047

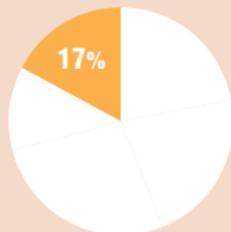
売上高



(単位：百万円)

	売上高	経常利益
第163期	6,900	209
第164期	6,666	99

売上高



食品その他事業

リンカー・化成品部門では、安価品の競争を避け、化粧フィルムなどの新規商品の開発に努めてまいります。また、生活関連物資を取り扱っている貿易部門は、穀物・イタリア関連食材の輸入・販売を中心にサプライヤーとの連携をより強め、新規顧客開拓に取り組んでまいります。

(平成23年3月31日現在)

■ 会社の概要

商号	株式会社ニッピ
設立年月日	1907年(明治40年)4月1日
資本金	35億円
従業員数	545名(連結対象会社合計)
本社	東京都足立区千住緑町1-1-1
主な事業内容	コラーゲン・ケーシング、ゼラチン、その他コラーゲン関連製品の製造販売および皮革関連製品等の販売
ホームページ	http://www.nippi-inc.co.jp/
主要取引銀行	みずほコーポレート銀行 三菱東京UFJ銀行 みずほ信託銀行 三井住友銀行

(平成23年6月24日現在)

■ 取締役及び監査役

代表取締役社長	伊藤隆男
常務取締役	石井英文
取締役	吉原道博
取締役	一蝶彬
取締役	河村桂作
取締役	新谷隆行
取締役	藤井睦雄
取締役	岩崎幸次郎
監査役(常勤)	工藤協一
監査役(常勤)	関田安彦
監査役	大倉喜彦
監査役	伊藤敬四郎

(平成23年3月31日現在)

■ 株式の状況

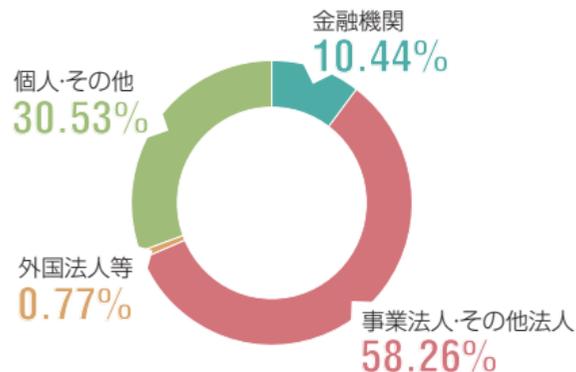
発行可能株式総数	48,000,000株
発行済株式の総数	11,952,000株 (自己株式48,000株を除く。)
株主総数	1,074名

■ 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社リーガルコーポレーション	2,787	23.32
大成建設株式会社	700	5.86
中央建物株式会社	582	4.87
株式会社ホテルオークラ	553	4.63
東京建物株式会社	500	4.18
株式会社みずほコーポレート銀行	349	2.92
みずほ信託銀行株式会社	300	2.51
特種東海製紙株式会社	250	2.09
前川義秋	250	2.09
昭栄株式会社	215	1.80

(注) 1.千株未満は切り捨てて表示してあります。
2.持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

■ 所有者別持株比率



■ 本体外観



HPのご案内



<http://www.nippi-inc.co.jp/>

株主メモ

事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会については3月31日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定める
配当金受領株主確定日	3月31日（中間配当を行う場合は9月30日）
1単元の株式数	1,000株
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
（郵便物送付先）	〒168-8507 東京都杉並区和泉2丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
（電話照会先）	0120-288-324（フリーダイヤル）
公告方法	電子公告により当社ホームページに掲載 ただし、やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載

【株式に関するお手続きについて】

1. 証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更、買取請求その他お手続きおよびご照会は、口座のある証券会社（口座管理機関）宛にお願いいたします。
2. 株主名簿管理人（みずほ信託銀行）の特別口座に記録されている株式につきましては、上記の郵便物送付先および電話照会先にお問合せください。
なお、みずほ信託銀行株式会社本店・全国各支店およびみずほインベスターズ証券株式会社本店・全国各支店でもお取扱いいたします。
3. 未払配当金の支払、支払明細発行につきましては、上記の郵便物送付先および電話照会先にお問合せください。
また、株式会社みずほ銀行においても未払配当金の支払事務の取扱いを開始いたしました。

お問い合わせ先

株式会社 

〒120-8601 東京都足立区千住緑町 1-1-1 TEL 03-3888-6651

表紙写真：ニッピコラーゲンケーシング

